

## 令和5年度第3回浜松市介護保険運営協議会 会議録

1 開催日時 令和5年9月29日（金）午後7時から午後8時まで

2 開催場所 浜松市役所 北館 101・102会議室

### 3 出席状況

(1) 浜松市介護保険運営協議会委員（50音順）

出席 7名 磯部智明委員 杉山晴康委員 鈴木謙市委員  
鈴木隆之委員 西澤基示郎委員 山田紀代美委員  
弓桁智浩委員

(2) 事務局

介護保険課 大村貴弘課長 鈴木真弓課長補佐 中澤学主幹 伊藤宏樹副主幹  
寺田達弘副主幹 前和恭副主幹 山下悦代副主幹  
高齢者福祉課 亀田岳史課長 鈴木博担当課長 大石尚課長補佐

4 傍聴者 1名

### 5 議事内容

(1) はままつ友愛の高齢者プラン（素案）について

6 会議録作成者 介護保険課 総務・給付グループ 近藤

7 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 有・

## 8 会議記録

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) はままつ友愛の高齢者プラン（素案）について

(会長)

議事1点目、「はままつ友愛の高齢者プラン（素案）について」事務局から説明願いたい。

<事務局から資料1について説明。>

(会長)

ただいま事務局から説明があったが、ご意見、ご質問等があれば発言を願いたい。

(A委員)

6点ほど、確認をしたい。

①資料の18ページに記載のある「ケアプラン点検」は、介護支援専門員連絡協議会としても協力させていただいているが、第9期からは、「住宅改修・福祉用具の点検」もそこに追加される形となるのか確認したい。

(事務局)

「ケアプラン点検」は、引き続き介護支援専門員連絡協議会の方々に御協力いただきたい。「住宅改修・福祉用具の点検」については、理学療法士の方々に御協力いただいて点検を実施しており、介護支援専門員の皆様の負担が増えるものではない。

(A委員)

②資料の20ページのコラム欄に「高齢者相談センター」の記載があるが、すでに名称が変更となってから期間が経過していることから、プランへ記載する必要はないのではないか。

(事務局)

すでに地域包括支援センターにおいては、看板を撤去しているところも見受けられる。記載については検討させていただきたい。

(A委員)

③資料の23ページ記載のある「地域における見守りのネットワーク」について、地域の銀行や郵便局、コンビニなどの団体の協力が必須になってきているように感じる。プランの策定においても視点として入れておいてほしい。

④資料の24ページ④尊厳のある暮らしの支援【現状と課題】の4行目「身寄りの

ない高齢者が増加しており、不適切な状態に気づきにくい傾向…」という記載は文面が取りづらいように感じる。

⑤資料の 34 ページに記載のある個別避難計画とはどのようなものか教えてほしい。

(事務局)

⑤現状は、行政が名簿を作成し、自治会等の方々に名簿を用いて個別避難計画の作成をお願いしている段階である。

(A 委員)

現実的には、市内をエリアごとに分けて災害時を想定した安否確認等の動き方の確認を行っていくべきではないかと感じている。

⑥資料の 43 ページの在宅医療に関連して、中山間地域の状況等も踏まえて遠隔診療についてプランに入れておいた方がいいのではないか。

(事務局)

遠隔診療は、主として保健福祉計画等にも含まれるものであり、連携をとったうえで記載について検討していく。

(B 委員)

4 点ほど、確認をしたい。

①資料の 12 ページの 4 行目「圧倒的に多くの元気な高齢者の活躍に期待が寄せられています。」という記載があるが、共に取組んでいくという表現を入れた方がいいのではないか。

②高齢者はどうしてもデジタル面に弱く、制度の周知啓発等において紙媒体である広報はままつへの記載が有効的であると思う。制度の周知啓発等に対して広報を活用する予定があるか。

(事務局)

②当市の広報は、1 つの分野において掲載できる文面の内容に限りがあり、広報で介護保険制度等の全ての内容の周知啓発は難しい。広報以外の方法での周知啓発を検討していく。

(B 委員)

アナログ的な方法での周知も考えていってほしい。

③資料の 35 ページに重点施策の一覧が記載されているが、市としては No. 1 が最も順位が高いという解釈でよいのか。

(事務局)

「地域共生社会の実現」については、今回のプランにおけるキーワードであり他の全ての施策に関連してくることから No.1 としている。

(B 委員)

④先ほど西澤委員からも意見があったが、資料の 43 ページの在宅医療に関して遠隔診療についての記載を検討していただきたい。

(C 委員)

2 点ほど、確認をしたい。

①資料の 45 ページに認知症施策についての説明があるが、資料の 51 ページにオレンジカフェやオレンジメールの見込量を記載していることもあり、45 ページの重点施策の内容の中にオレンジカフェ等のキーワードを追加した方が分かりやすくなるのではないか。

②現行のプランと比較して、第 5 章と第 6 章を入替えているが、現行のプランでは、施策の展開の説明において重点施策のナンバリングを記載している。今回のプランでは記載がなくなっているが、重点施策のナンバリングについて記載の検討をしていただきたい。

(事務局)

②施策の展開の説明における重点施策のナンバリングについては、今回、第 5 章と第 6 章を入替たことを受けて記載していないが、改めて検討したい。

(D 委員)

今後、浜松市においては、日本以外にルーツを持った方々が要介護状態となってくる。その流れに対応していく術が現状としてはない。そのような未来を見据えて市としても対応していくビジョンについて考えてほしい。

(E 委員)

多様な人材確保の内容として、ボランティアのことが書かれているが、元気な高齢者の方々の中には就労を希望される方もおり、また女性の社会進出も進んでいる状況において、どの層をターゲットに多様な人材として取り入れていこうと考えているのか。

(事務局)

元気な高齢者の方々に自由時間を利用した福祉のボランティア活動等に意識を向けてもらいたいと考えている。

(F 委員)

個別避難計画の記載があるが、より具体的な対応や災害時における各自の動き方等を示すことで市民の安心につながるのではないか。

(事務局)

次の3年間ですべてを整理することは難しいため、まずはより優先度が高い方々への対応について検討を進めている。

(会長)

この案件については聞き置くこととする。

### 3 その他

(事務局)

会議録については、近日中に送付させていただくので、確認をお願いしたい。  
次回の会議については、10月23日(月)に開催を予定している。

### 4 閉会